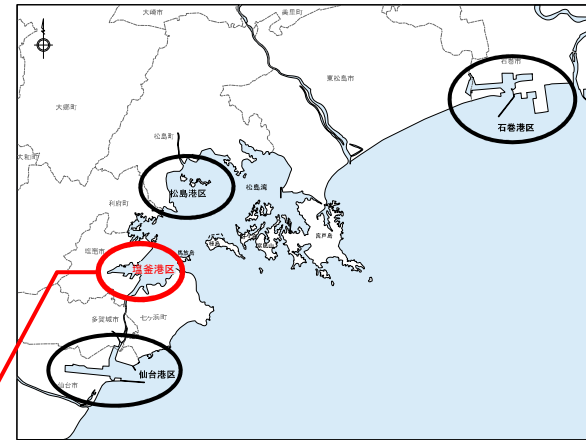


仙台塩釜港 港湾計画 - 軽易な変更 - (案)

概要版

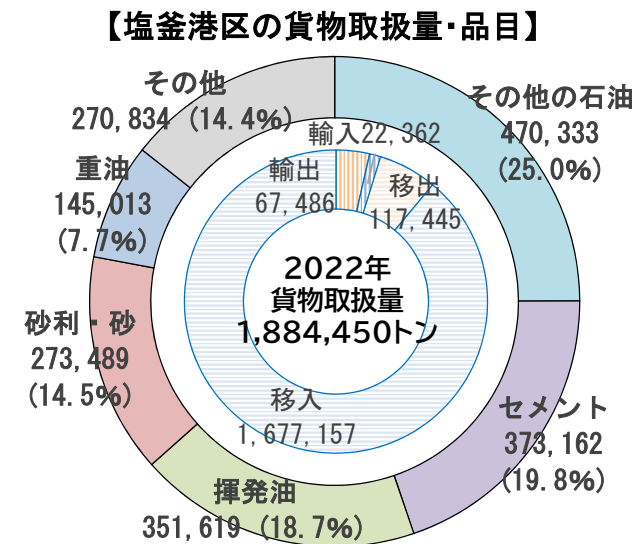
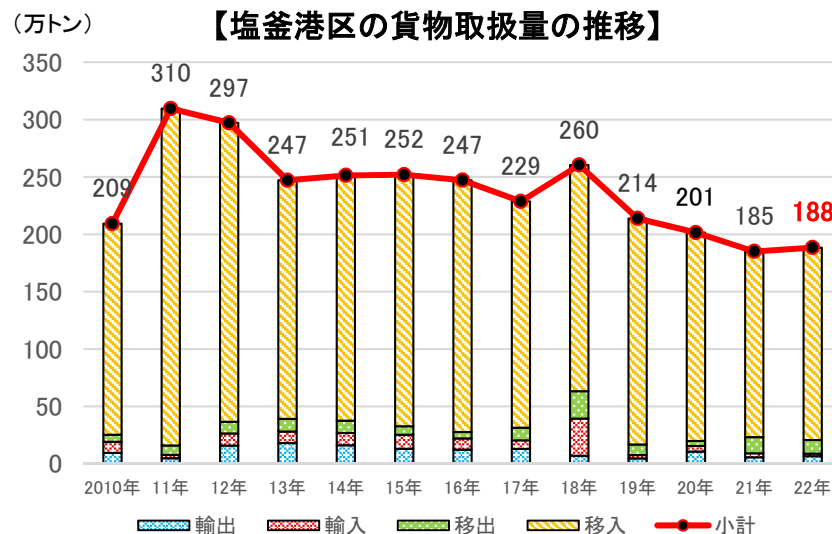


仙台塩釜港(塩釜港区)の概要

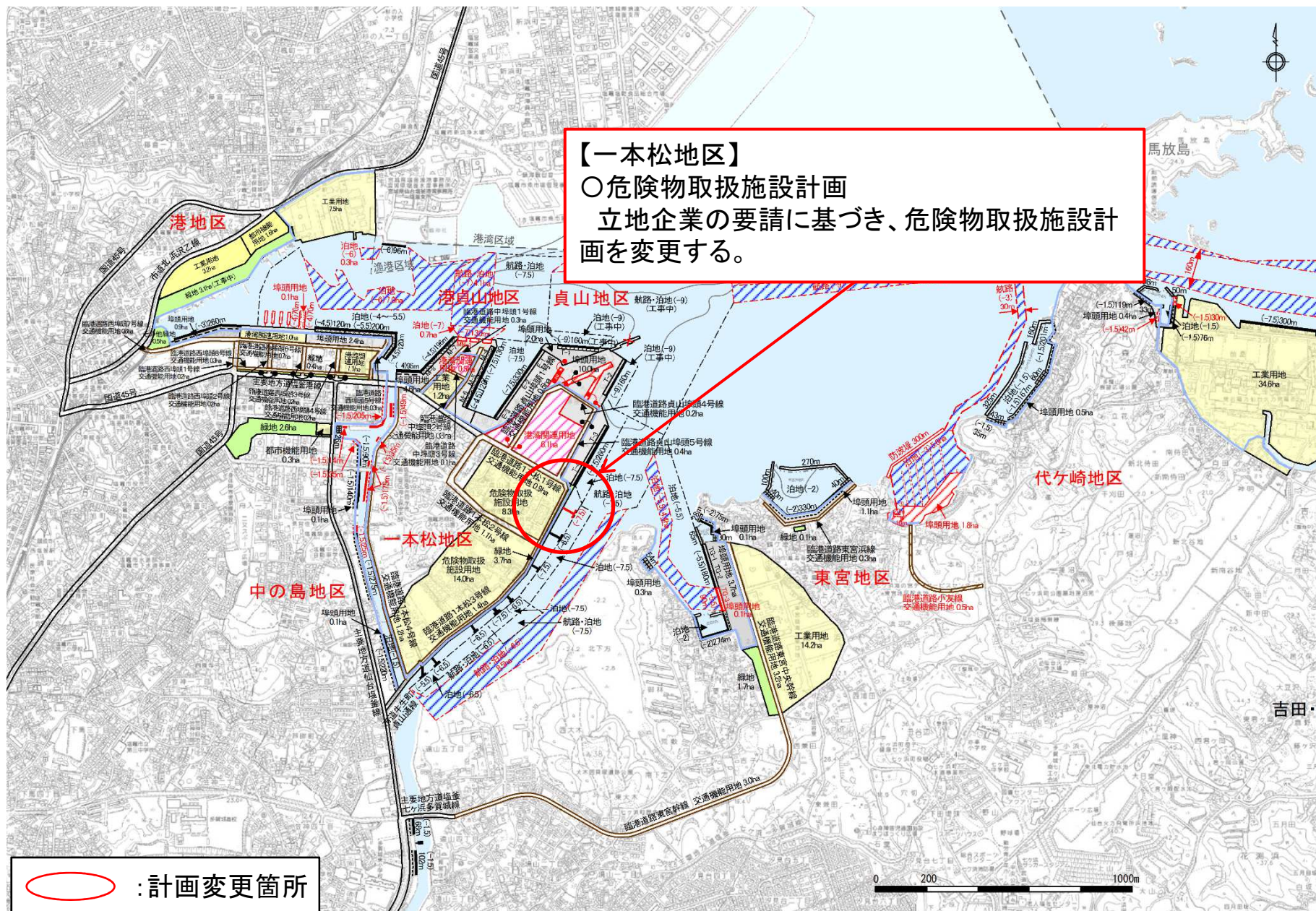
- 天然の良港である塩釜港区は、地域の基幹産業である水産加工業の原材料の輸送拠点であるとともに、重油・石油製品が取扱量の約50%を占めるなど、東北のエネルギー供給基地として、重要な役割を担っております。
- エネルギーは一本松地区において、重油や軽油などの石油製品が取り扱われています。
- また、「マリゲート塩釜」を発着拠点として、日本三景「松島」への定期観光船や浦戸諸島への定期船が運航されており、観光産業を支援するとともに離島への連絡船の基地として生活を支える重要な役割を担っています。



出典: 塩釜市ホームページ



今回の計画変更内容(塩釜港区)



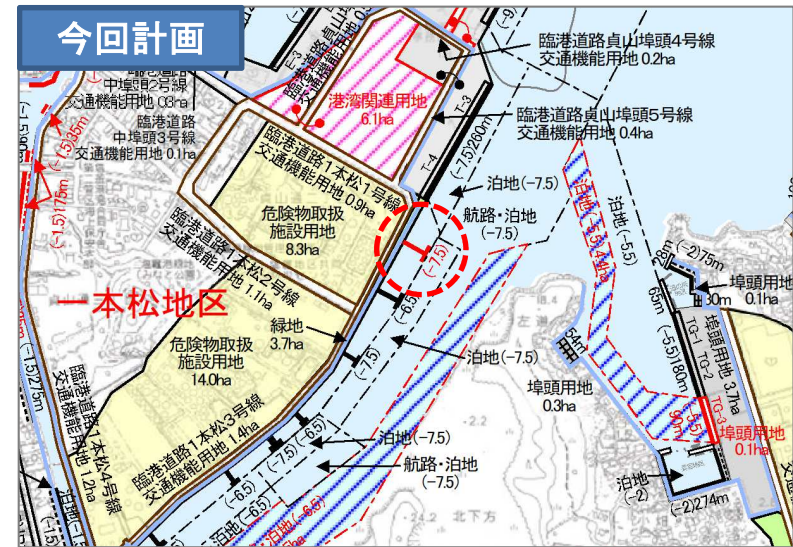
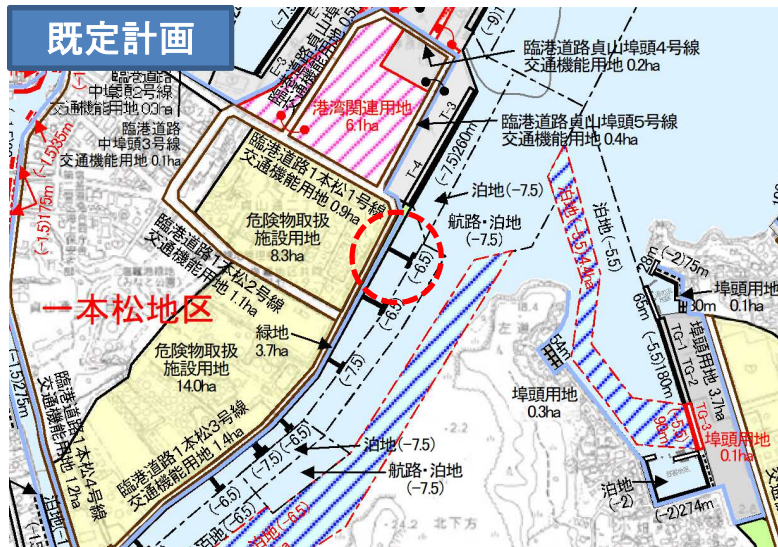
計画変更の概要(塩釜港区)

■背景

・塩釜港区一本松地区へドルフィンを有する立地企業において、船舶の大型化に対応するための施設整備計画の見直しが進められている。

■対応

・立地企業の要請に基づき、危険物取扱施設計画に位置付けられている、専用ドルフィン1バースの水深を6.5mから7.5mへ変更する。



【既定計画】

○危険物取扱施設計画

- ・水深 6.5m ドルフィン1バース (専用)

【今回計画】

○危険物取扱施設計画

- ・水深 7.5m ドルフィン1バース (専用)
- [既設の変更計画]